

トウモロコシ祭り、親子で収穫

夏の味覚、獲れたてのトウモロコシを味わおうと7月16日、通所リハビリセンター「茶釜の湯」で、トウモロコシ祭りを開きました。3年前から始まった取り組みで、茶釜の湯の近くの畑を使い、白井平八郎県議や地域の人々の協力でトウモロコシを栽培し、グループの職員が親子で収穫体験をしました。

3年前には、茨城国際親善厚生財団（IIFF）として、新宿区に朝一の獲れたてトウモロコシ 3500本を直接運び、区民の方々に手渡しました。翌年からコロナ禍のためにやむなく中止となりました。

今年は天候不順の中でトウモロコシ祭りが開かれましたが、職員や家族が集まってトウモロコシ畑に行くと、雨も止んで、収穫がスタート。職員や職員家族に交じって、中国人技能実習生も収穫を楽しみました。

中国人技能実習生は「中国でもトウモロコシを栽培しています。どちらの国のトウモロコシもおいしいです」と話していました。



2022年7月19日



©Tasseido group

